

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会（メ・ル・ック）
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



◆ 目 次 ◆
○活動報告
○お知らせ

♪ホームページ折々に更新中!
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

●東日本大震災から10年！ 箕面ユネスコ協会● 3.11を忘れない「こっちゃん ツアー」

緊急事態宣言 解除

報告 ① 気仙沼大島 牡蠣の養殖 ヤマヨ水産 小松 武さんご一家



秋恒例の箕面ユネスコ協会の東北ツアー、1年前から計画していた10月3、4日の日程でしたが9月末で緊急事態宣言が解けて何とか行く事ができました。今回は、震災10年の節目として毎年3月の復興支援イベントを終えたことを、募金の寄付先である気仙沼大島のまちづくり組織代表の小松武さんや関係者の皆さんに報告する旅になりました。このイベントは、私が代表を務めているNPO 法人市民活動フォーラムみのおとアサンプションン国際小学校中学校高等学校の聖歌隊と生徒会、そして箕面ユネスコ協会3者の連携で

開催してきました。当初は寄付先をせんだい・みやぎNPOセンターのはばたきファンドにしていたのですが、箕面ユネスコ協会と連携してからは坂口さんを通して仙沼大島架橋推進協議会（代表小松武さん）に寄付を送るようになりました。



坂口さんに誘われて震災8ヶ月後に被災地に入ってから、毎年10月に欠かさず訪れて早10年。まちの様子も随分変わりました。高台に新しい町が広がり、道路事情も良くなり、移動がどんどん便利になって、

目を見張るものがあります。復興支援イベントとしては一定の役割を果たしたものと思いますが、その一方で家族を亡くされた人たちや福島で故郷をなくした人たちの思いは決して忘れてはいけなと改めて思います。いろいろな思いを抱えながら、それでも、毎回弾丸ツアーの突然の訪問に笑顔で迎えてくれる気仙沼の皆さんの温かさは本当にありがたく心地よく、次のツアーへの原動力にもなっています。これまでにかった人たちとの絆がもっともっと広がるように、箕面ユネスコ協会のツアーが続いていくことを願っています。（須貝 昭子）



小松さんの牡蠣の作業場NHKの朝ドラ「おかえりモネ」のロケ地です！

●箕面市立第三中学校 2年生●

わたしたちがつくる持続可能な世界～49期生の思いを三中に広げよう～ 文化発表会に参加して

1学期には、「行動を起こしている人の話を聴いてみよう」という活動で、坂口会長と川本実弥さんがネパールやカンボジアでの体験を通して学んだことを伝えさせていただきました。生徒のみなさんは、その後、グループごとにテーマを選び、調べ、意見をまとめる活動を継続されたそうです。

9月、コロナ禍のため、保護者や地域の方の会場参加はなかったのですが、「文化発表会」としてオンラインで生徒のみなさんの学びを広く発信する形を工夫され、箕面ユネスコ協会は、来賓として2年生の発表の場に招いていただく機会を得ました。



♪全員のレポートがまとめられています。目標ごとに、コピーも貼りだされていました。



♪プレゼンコンテストを経て選ばれた代表グループのみなさんが、次々と意見を発表していきます。



♪最後に、坂口会長からのメッセージと、川本さんからの講評の時間をいただきました。

坂口会長は、2030年までの8年半、学んだことを糧に「アクション」を積み重ねてほしいと、生徒のみなさんにメッセージを送りました。川本さんは、それぞれのグループ発表への感想や気づきに加えて、宗教や児童労働など世界で焦点となっている事柄について、多様な価値観を尊重しながら自分自身の問題として考え続けていしましょう…と、自身の学びを重ねながらの講評を行いました。

今回も、しっかりと学ぶ姿や、協力して活動する姿を見せていただきました。コロナ禍への対応が大変な中、貴重な機会をくださった生徒のみなさん、先生方に感謝いたします。(大濱 淳子)



